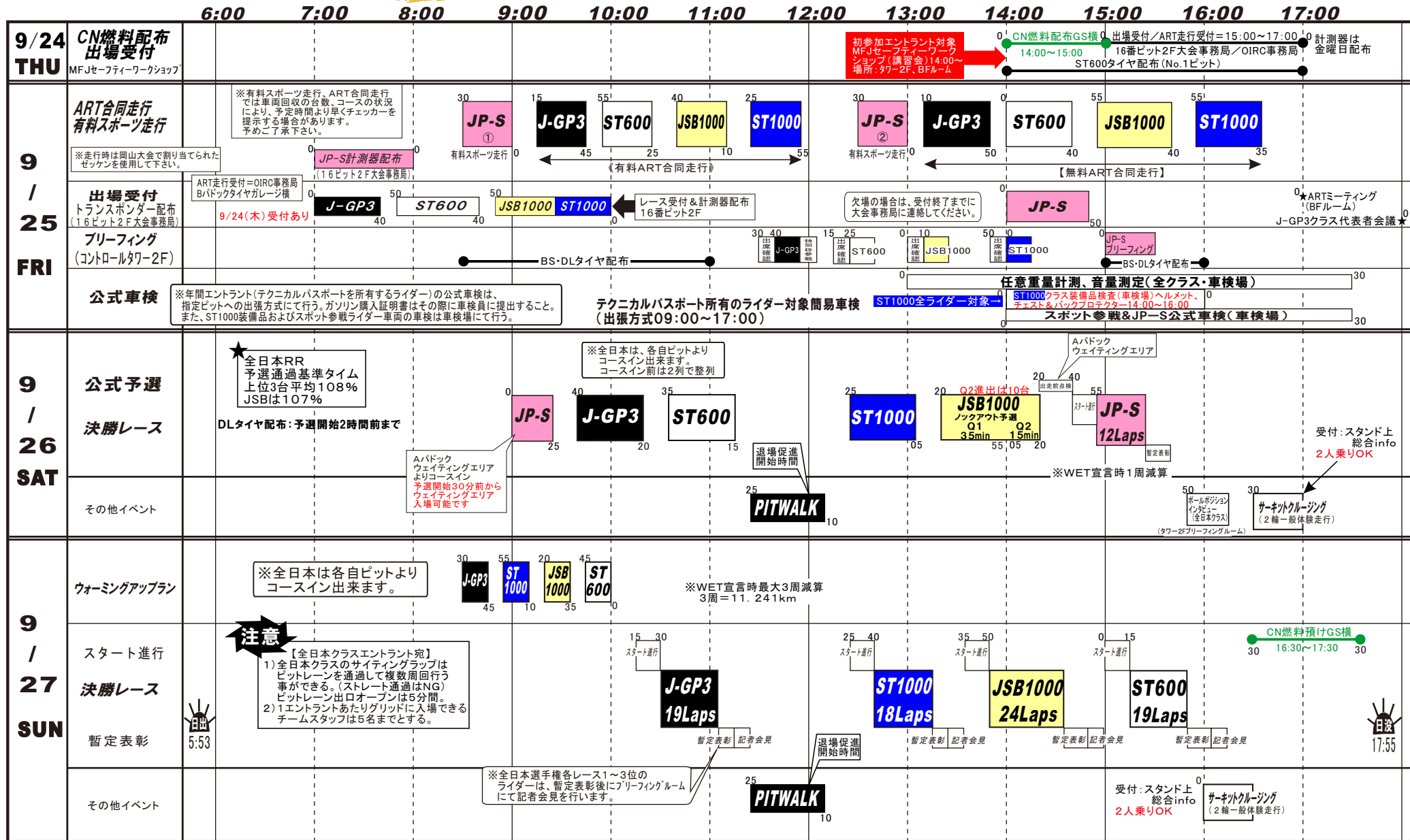


2026 MFJ ALL JAPAN ROADRACE CHAMPIONSHIP RD.6
SUPER BIKE RACE 9.26-27
IN OKAYAMA

TIME TABLE

公式通知 N o . 1
大会事務局

2026. 9. 14 発行



	エンタラントゲートOPEN	OIRC事務局	ガソリンスタンド
9/25(金)	6:00~24:00	6:30~17:00	6:30~17:00
9/26(土)	6:30~24:00	7:30~17:00	7:30~17:00
9/27(日)	6:30~19:00	7:30~17:00	7:30~16:00

(※車両・機材等の搬入はゲートオープン時間内に行ってください。)

【搬入に関して】全日本RR参加者は9月24日(木)06:30より搬入可能です。

※他エンタラントの搬入・通行の妨けとなりますので、搬入時におきましては通路への駐車ならびに車両のはみ出しはしないでください。

リザルト

公式通知

WEB
タイミン
グモニター

全エントラント宛

1. 使用ガソリンについて

JSB1000クラスを除き、競技に使用するガソリンは、大会期間内に岡山国際サーキット内ガソリンスタンドにて販売される以下に示すものを使用しなければならず、外部からのガソリンの持ち込み使用は厳禁。また、ガソリンの抽出検査を行う場合は以下の通り行う。

1) ガソリン購入証明書の提出（JSB1000クラスを除く）

- ①参加受理書同封のガソリン購入証明書に給油までに必要事項を記入する。
- ②サーキット内ガソリンスタンドで、給油時に証明書に捺印をもらう。なお、証明書の有効期限は給油より14日間。
- ③有効なガソリン購入証明書を公式車両検査時に車検委員に（出張車検は出張先にて）提出する。やむをえず公式車両検査終了までに提出できない場合は、当該公式予選開始時までに車検委員に提出しなければならない。

2) サンプル採取

公式予選終了後に無作為に指定された3台の車両からガソリンの抽出検査を行う場合がある。
決勝レース1～6位までの中からガソリンの抽出を行い必要に応じて検査を実施する。
また、大会審査委員会が必要と認めた場合は大会期間中いつでも検査が実施される。

3) 競技指定ガソリン性状表

- ①岡山国際サーキット内ガソリンスタンドで販売される本競技会指定無鉛ハイオクガソリンの性状表は以下の通り。

銘 柄	idemitsu ハイオクガソリン	成分試験法（ガスクロ）	
密 度	15°C g/ cm ³ 0.7502	MTBE vol. %	0.1 (—)
水分価	リサーチ法 99.6	ベンゼン vol. %	0.4 (—)
蒸留性状	10% °C 53.5	メタノール vol. %	0 (—)
	50% °C 94.0	灯油分 vol. %	0 (—)
	90% °C 115.0	硫黄分 mass %	0.0003
	終 点 176.0	鉛 分 g/l	0 (—)
	残油量vol. % 1.0	実在ガム mg/100ml 洗浄	1 以下
蒸気圧	37.8°C kPa 64.0	色 外観	オレンジ
銅板腐食	50°C, 3Hr 1		
酸化安定度（誘導期間法）Min.	480		

- ②JSB1000指定燃料ETS Renewablaze Nihon2 R100の性状表は以下の通り。

銘 柄	ETS Renewablaze Nihon2 R100	成分試験法（ガスクロ）	
密 度	15°C g/ cm ³ 0.751	MTBE vol. %	0.2
水分価	リサーチ法 101.6	ベンゼン vol. %	0.3
蒸留性状	10% °C 60.4	メタノール vol. %	0.2
	50% °C 84.0	エタノール vol. %	0.36
	90% °C 155.9	硫黄分 mg/kg	6.2
	終 点 182.1	鉛 分 g/l	0.0025
	残油量vol. % 1.1	実在ガム mg/100ml 洗浄	0.5 以下
蒸気圧	37.8°C kPa 47.1	色 外観	緑色
銅板腐食	50°C, 3Hr 1	理論空燃比	13.36
酸化安定度（誘導期間法）Min.	360		

○ガソリンに関する抗議の保証金は100,000円とする。

○1エントリーに対して1本の消火器を携帯。 内容量1.5リッター以上STOP機能付きのものが望ましい。給油時には車両の近くへ消火器を準備しておくこと。

以 上

全エントラント宛

1. トランスポンダー〔自動計測装置〕の装着について

各参加車両は主催者より配付されるトランスポンダーを、特別スポーツ走行・ART合同走行・公式予選・ウォーミングアップラン・決勝レースを通して指定の方法で装着すること。レース終了後は速やかに（不出走車は予選終了後）大会事務局に返却すること。

〔配布時間および配布場所〕

9/25（金）出場受付時・・・16番ピット2F大会事務局にて

2. ライトパネル（発光式信号）の運用について

- 本大会では旗信号と併せて各ポストに設置されたライトパネルを使用する。
- 複数の合図を同時に表示しなければならない場合は、赤旗、黄旗、緑旗をライトパネルで表示し他の合図は旗表示する。
- 黄色、緑色パネル区間のジャッジラインはオブザベーションポストとする。
- オレンジディスク旗、黒旗はインフォメーションパネルと併用して表示する。
- トラブルでライトパネルが使用出来なくなった場合は、旗・ボードによる表示とする。

【各ライト表示イメージ】



【スポーツ走行時のライトパネル表示】



3. ピットレーンの速度制限について

ピットレーンにおける制限速度は安全管理上**60Km/h**以下とする。これに違反した車両は（違反1回につき）以下の罰則が課せられる。

1) 罰則内容

- ・公式予選／ウォーミングアップラン・・・罰金10,000円／1回
- ・決勝レース時（サイティングラップ以降）・・・「ライドスルー」ペナルティ

2) 測定方法・・・スピードガン及びブルーコイルによる計測（※測定場所はパドック図参照）

3) 測定期間・・・9/26（土）公式予選から。9/27（日）ウォーミングアップラン／決勝レースを通して。

4. プラットホーム入場可能のピットサインマンについて

プラットホームにてサインを送るピットサインマンは、走行中のクラスに登録されているピットクルーで入場可能な以下のクレデンシャルを確認しやすい位置に着用してください。

〔年間エントラント〕・・・年間パス（緑色）

〔スポット参戦エントラント〕・・・主催者発行クレデンシャルNo. 4

5. サイティングラップ終了後、スターティンググリッドに着いたら各ライダーは観客・メディアサービスのためヘルメットを脱いでください。3分前ボード表示で再び着用してください（雨天時は不要です）

6. パドック使用チームのコースインおよびピット前作業エリアについて

走行セッション前になりましたら、「コントロールタワー下コースインゲート」にて待機下さい。オフィシャルがコースインの指示を行います。ピット前作業エリアについては、別紙案内参照のこと。ピット使用チームはパドック使用チームより要請があった場合は、可能な限り協力すること。

7. RIDE THROUGH ボード提示位置 メインフラッグポストと7.8番ポストで提示する。

8. WowTalk の運用について

下記トークルームを設定し、WowTalk を運用する。

※運用 は 9 月 24 日（木 ）からといたします。

※運用開始時まで、必ずログインをお願いいたします。運用は、参加者は受信のみとなり、返信はできない。
1. クラスごとの 全体連絡

・全日本選手権クラス 全体連絡

・全日本選手権 JSB1000 全体連絡

・全日本選手権 ST1000 全体連絡

・全日本選手権 ST600 全体連絡

・全日本選手権 J GP3 全体連絡

・MFJ カップ JP-SPORT 選手権 全体連絡

レース進行や公式通知、リザルト発行に関する情報を発信する。
2. Race Control

レース進行等、計時テロップ情報を必要に応じ連動して発信する。
3. その他

MFJ およびオーガナイザーは必要と判断したトークルームを適宜追加設定し、運用するものとする。

9. 大会賞典について

各クラスの賞典細目は以下の通りとする。（※税込み金額）

2026 全日本ロードレース選手権シリーズ 賞金スケール表

単位:万円

順位	JSB1000	ST1000			ST600			J-GP3
		正賞	DL 賞	合計	正賞	BS 賞	合計	
1	72	36	10	46	27	6	33	27
2	45	22.5	5	27.5	18	3	21	18
3	31.5	18	3	21	13.5	2	15.5	13.5
4	22.5	9	2	11	9	1	10	9
5	18	7.2	2	9.2	7.2	1	8.2	7.2
6	13.5	6.3	2	8.3	6.3	1	7.3	6.3
7	10.8	5.4	2	7.4	5.4	1	6.4	5.4
8	9	4.5	2	6.5	4.5	1	5.5	4.5
9	-	-	-	-	3.6	1	4.6	-
10	-	-	-	-	2.7	1	3.7	-

エントリー台数による賞金基準	
JSB	ST1000/ST600 J-GP3
40 台以上 15 位	
30～ 39 台 12 位	
25～29 台 10 位	25 台以上 10 位
20～24 台 8 位	20～24 台 8 位
15～ 19 台 6 位	15～ 19 台 6 位

- 賞金振込先記入用紙を大会期間中に大会事務局へ提出してください。（年間エントリーは提出不要です）

○JSB1000のみホールドポジション賞、Lap賞が設定されています。

■PP賞 （総額8万円）

予選の総合 1 位に対して授与される。

■LAP賞 1周：7,500円 （総額18万円）

・決勝レースで、各周回をトップでコントロールラインを通過したものに、総額から各戦の総周回数にて応じた金額を周回数ごとに授与。

・レースが途中で終了した場合、当初の周回数によって算出した1周あたりのLap賞を授与する。

・決勝レース中に失格の場合は、ラップ賞は次点者に繰り下げられる。

○ST600クラス プリヂストン賞の授与について

決勝レース11位から15位の5名の選手には、「BATLAXプリペイドカードにて5,000円相当のポイントカードが贈呈されます。

○出場受付終了時のエントリー台数により上記賞金基準が変更されます。

○賞金は上記金額より源泉税を差し引いた金額が指定口座に振り込まれます。

振込先が法人の場合は、源泉税を差し引きませんので振り込み口座確認用紙に明記してください。

○複数のライダーの賞金を同一口座に振り込む場合は、振り込み用紙に明記してください。

○各クラス 1 ～ 6 位は正式結果発表後大会事務局にてトロフィーの授与を行います。

○賞典対象者は完走者に限られる。

2026 MFJ ALL JAPAN ROADRACE CHAMPIONSHIP RD.6

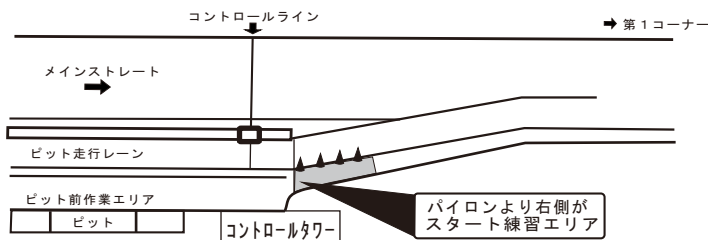
SUPER BIKE RACE 9.26-27
IN OKAYAMA

公式通知 N o. 4
大会事務局
2026. 9. 14 発行

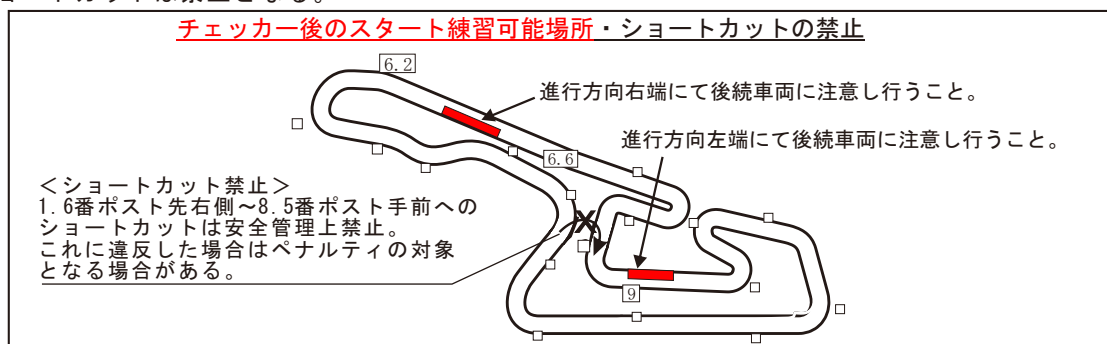
全エントラント宛

1. スタート練習およびショートカットについて

- 走行時間中スタート練習を行う場合はピットレーン出口右側に設置されたパイロン右側エリアにて後続車両に十分注意して行うこと。（※コース上にストップして行わないこと）



- ART 合同走行・予選・フリー走行の チェッカー後にスタート練習を行う場合、下記 6. 2 番ポストと 6. 6 番ポストの中間コース右端および 9 番ポスト先コース左端にて後続車両に十分注意して行うこと。
- ショートカットについて
ART 合同走行、公式予選、ウォーミングアップラン、決勝レースを通してシケイン手前右側のショートカットは禁止となる。



2. メディカル体制について

負傷したライダーは必ず岡山国際サーキットメディカルセンター内で診断を受けること。
なお、指定病院及び連絡先は下記の通り。

■ 救急車台数／2 台

■ 救急ヘリコプター／医師の指示により要請可能

指定医院		
津山中央病院	津山市川崎 1 7 5 6	TEL:0868-21-8111
津山第一病院	津山市中島 4 3 8	TEL:0868-28-2211
原 医院	美作市豊原 3 6 3-2	TEL:0868-72-8100
岡山済生会総合病院	岡山市伊福町 1-17-18	TEL:086-252-2211
川崎医科大学総合医療センター	岡山市中山下 2-6-1	TEL:086-225-2111
総合病院岡山赤十字病院	岡山市青江 2-1-1	TEL:086-222-8811
川崎医科大学附属病院	倉敷市松島 5 7 7	TEL:086-462-1111
木田医院	美作市中山 1 4 8 2-3	TEL:0868-72-4373
さとう記念病院	勝田郡勝央町黒土 4 5	TEL:0868-38-6688
田尻病院	美作市明見 5 5 0-1	TEL:0868-72-0380
美作中央病院	美作市明見 3 5 7-1	TEL:0868-72-0461
和田外科医院	美作市北山 9 1	TEL:0868-72-3333

3. グリッド上送風機使用について

熱中症対策とライダーの健康管理の観点から、決勝レースグリッド上においてジェネレーターから送風機への電源供給を許可する。

以上

JSB1000クラス宛

1. JSB1000クラスのタイヤ規制

- (1) タイヤの使用本数制限が設けられ、予選中は2セット（スペアマシン含）のみ使用することが認められる。
ウォーミングアップランおよび決勝レースのタイヤ使用本数制限は行わない。

- (2) ドライタイヤの定義：スリックタイヤ及びカットスリック

- (3) ウエット時の運用方法

ウエット宣言時のタイヤ使用本数制限は行わない。（マーキングの有無を問わない）

ウエット宣言解除後10分以内にマーキングタイヤに交換しなければならない。

2. 国内競技規則付則5、24に定められるJSB1000クラスシード権保持者は下記の通り。

優先 順位	ゼッケン No.	エントラント名	ライダー名
1	1	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	中須賀 克行
2	88	Team KAGAYAMA RIDEWIN	水野 涼
3	4	イスタイルンク2	野佐根航汰
4	5	Team 桜井ホンダ	伊藤 和輝
5	6	Team ATJ	岩田 悟
6	45	DUNLOP Racing Team TKR	長島 哲太
7	44	Team TARO	関口 太郎
8	10	Team ATJ	鈴木 光来
9	50	Team Kodama	児玉 勇太

※代理ライダーにはシード権は適用されない。

JSB1000・ST1000・ST600クラス宛

3. タイヤ違反に関する罰則

- ・予選中：当該セッションのタイム無効（指定タイヤ以外の使用は失格）
- ・決勝中：失格

ST1000クラス宛

4. ST1000クラスのタイヤ規制

- (1) タイヤはMFJが指定したST1000指定タイヤのみ使用することができる。

- (2) タイヤの使用制限本数が設けられ、予選・決勝を通し2セットのみ使用することが認められる。
日曜日朝のウォーミングアップランのタイヤ使用本数制限は行わない。

- (3) ウエット時のタイヤ本数制限は行わない。但し、ドライタイヤを使用する場合、マーキングされたタイヤのみ使用可能とする。

ST600クラス宛

5. ST600クラスのタイヤ規制

- (1) タイヤはMFJが指定したST600指定タイヤのみ使用することができる。

- (2) タイヤの使用制限本数が設けられ、予選・決勝を通し2セットのみ使用することが認められる。
日曜日朝のウォーミングアップランではタイヤ使用本数制限は行わない。

- (3) ウエット時のタイヤ本数制限は行わない。但し、ドライタイヤを使用する場合、マーキングされたタイヤのみ使用可能とする。

以上

【スーパーバイクレースin岡山 ピット割り】

※他エントラントの搬入・通行の妨げとなりますので、搬入時におきましても通路への駐車ならびに車両のはみ出しはしないでください。

Pt	チーム	クラス	No.	ライダー	クラス	No.	ライダー	クラス	No.	ライダー	P1申請
18C	主催者使用										
18B	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	JSB1000	1	中須賀 克行							10t
18A	Team SAKURAI HONDA	JSB1000	5	伊藤 和輝	J-GP3	80	スポン 中山 結互				4t
17C	Astemo Pro Honda SI Racing	JSB1000	4	野左根 航汰							10t
17B	Astemo Pro Honda S I Racing	ST1000	1	羽田 太河							4t
	Astemo Pro Honda S IRacing	ST1000	5	荒川 昇大							
17A	Astemo Pro Honda SI Racing	ST800	15	瀧田 寛太							4t
	Astemo Pro Honda S IRacing	ST800	31	中谷 慎心							
16C	Astemo S IRacing with RSC	J-GP3[C]	16	戸高 龍太郎							
	AstemoS IRacing withThai Honda	J-GP3	14	テーシン・インアパイ	J-GP3	35	ヴァチラウィット・マイダットバン				10t
16B	Team ATJ	JSB1000	6	岩田 悟							
16A	TeamATJ	JSB1000	10	鈴木 光来							
15C	JAPAN POST docomo Business TP	ST800	71	小山 知良	J-GP3	3	岡崎 静夏				10t
15B	JAPAN POST docomo Business TP2	J-GP3	23	若松 伶							
	TOHO racing	ST1000	15	作本 輝介	ST800	28	鈴木 未来翔				4t
15A	TOHO Racing	ST1000	104	國峰 琢磨	ST800	34	笠井 杏樹				10t
14C	AKENO SPEED.RC KOSHIEEN	ST1000	4	井手 翔太							4t
	AKENO SPEED	ST800	52	上江洲 義孝							
14B	Like a Wind . CLUB Y's	J-GP3	9	松田 基成							2t
	YAHAGI Racing Team	ST1000	12	伊藤 元治							4t
14A	P.MU 7C GALESPPEED	J-GP3	82	スポン 吉原 寛之介							4t
13C	DUNLOP Racing Team with YAHAGI	JSB1000	45	長島 哲太							4t
13B	Team BabyFace	JSB1000	16	津田 一磨							4t
13A	Kawasaki Plaza Racing Team	ST1000	64	岩戸 亮介	ST1000	43	彌榮 都				10t
12C	ITO RACING BORG CUSTOM	ST800	5	松岡 玲							4t
12B	ITO RACING BORG Custom	ST800	16	山根 昇馬							
	TONE Team4413 BMW	JSB1000	24	吉田 愛乃助							4t
12A	TONE Team4413 BMW	JSB1000	46	星野 知也							
11C	SANMEI T.TARO PLUSONE with SDG	JSB1000	44	関口 太郎							4t
	Team Plusone	J-GP3	11	武中 駿							4t
11B	Astemo MIRAI Racing with TN45	ST800	17	藤田 哲弥							2t
	Honda Vietnam KoharaRT	J-GP3	28	ゴー・グエン・ヴィエット・トアン							4t
11A	SDG DUCATI Team KAGAYAMA	JSB1000	88	水野 涼							10t
10C	SDG Team HARC-PRO.Honda	JSB1000	92	國井 勇輝							10t
10B	SDG Team HARC-PRO. Honda	ST1000	56	名越 哲平	ST800	10	小田喜 阿門	ST800	13	青田 魁	10t
10A	SDG Jr. 56RACING	J-GP3	56	富樫 虎太郎							2t
	SE COMPETITION	ST800	8	千田 俊輝							1BOX
9C	MOTOBUM HONDA	ST1000	7	豊島 伶	ST800	21	徳田 翔	ST800	12	松本 康雅	4t
9B	MOTO BUM HONDA	ST800	64	楠 留維	ST800	93	松島 璃空				4t
	KIJIMA KISS RC with Katsudenki	J-GP3	10	飯森 新悟							2t
9A	TEAM SUGAI RACING JAPAN	JSB1000	27	須貝 義行							4t
	PlanBee Racing MTR	J-GP3	24	井利元 新							4t
8C	KRP SANYO KOGYO & RS-ITOH	JSB1000	31	菅原 陸							4t
8B	NANKAI & SANYO KOGYO RS-ITOH	ST1000	97	佐野 優人							
	I's RACING	JSB1000	18	中村 寛也							4t
8A	Team TATARA aprilia	ST1000	10	和田 留佳							4t
	Team TATARA-aprilia	ST1000	16	芳賀 遼大							
7C	HondaSuzukaRacingTeam	ST800	2	中島 元氣							4t
	Team TITANTKR SUZUKI	ST1000	9	村瀬 優哉							2t
7B	TeamLife.HondaDream Kitakyushu	J-GP3	8	仲村 瑛冬							1BOX
	MARUMAE DreamKitakyushu CPARIS	J-GP3	5	大田 隼人							1BOX
7A	MARUMAE Team KODAMA	JSB1000	50	児玉 勇太							4t
6C	RSN	JSB1000	21	中富 伸一	ST1000	17	スポン 古山 颯太				4t
6B	Hisa31 with R-in Spirits	ST1000	25	新井 久美							4t
	TEAMKENKEN YTch	ST800	50	長尾 健吾							2t
6A	RTJapan M Auto	ST1000	33	亀井 雄大							4t
	RT Japan-M-Auto	ST1000	27	村田 司							
5C	K-FUND GBSracing	ST800	7	高橋 匠							4t
	GarageL8 Racing Team	ST800	29	池田 優介							4t
5B	Racing Team SEKI	ST800	32	樽澤 雄太	ST1000	39	スポン 関 一正				4t
	TEAM NAOKO KTM	J-GP3	75	高杉 奈緒子							4t
5A	BATTLE FACTORY	ST800	25	宮崎 隼	ST800	1	伊達 悠太				4t
4C	NitroRyotaRacing 11	ST800	11	岡部 伶							10t
	NitroRyotaRacing 41	ST800	9	田中 啓介	ST1000	28	ナデタン・トンコート				4t
4B	TEAM AKITECH TxS	J-GP3	25	山本 瑠生哉							1BOX
	RairakuKikaku RGNiWA TEAMDESHI	J-GP3	28	村田 憲彦							2t
4A	Team SUZUKI CN CHALLENGE	JSB1000	85	津田 拓也							10t
3C	S-SPORTS SUZUKI	JSB1000	95	西村 碩							4t
	Webike Team Norick	ST800	27	森山 渾							4t
3B	Nozawa Racing Family. MALUSAKA	J-GP3	17	野澤 秀典							1BOX
	TEAM TEC2 and 24Service	ST800	30	豊原 由弘							1BOX
3A	team EORIC with FLASH	ST800	33	山本 航							1BOX
	スポットエントリー	JSB1000	29	樋口 耕太							
2C	スポットエントリー	ST1000	19	山中 将基	ST800	40	大田 浩人				
		ST1000	38	本多 太一							
2B	スポットエントリー	ST1000	37	安達 勝紀	ST800	48	松下 幸司				
		ST800	36	川崎 祥吾							
2A	スポットエントリー	ST1000	26	林 祥由							
		J-GP3	38	岸田 慶一							
1ABC	プリDESTンタイヤサービス										